

4月「Ostern」 アントニア・シュルト

クリスマスはドイツ人に愛され、全体的にみれば一番大事なお祭りかもしれませんが、キリスト教においてはそうではないです。一番大事なのは十字架にかけられて死んだイエス・キリストが三日目に復活したことを記念・記憶するドイツ語で「Ostern」と呼ばれる祭です。

多くの教会で特別な礼拝が行われても、私を含めてドイツ人が教会に行くのはイースターよりはやりクリスマスです。

イースターをいつお祝いするかということそれは「春分の日後の最初の満月の次の日曜日」となっているので年によって日付が変わっても必ず日曜日に祝います。信仰の深さにもよりますが、イースターまで、四旬節中に食事の節制を行う慣習を守っていると復活日（Ostersonntag）の最初のチョコ卵がとってもおいしいです。

